



地方創生フォーラム in 奈良

中山間地域における「稼ぐ力」と「住み続けられる仕組み」づくり

定員
300名
(入場無料)



中山間地域における地方創生には、地域で「稼ぐ力」を高め、その地域に「住み続けられる仕組み」を構築することが必要です。

本フォーラムでは、「稼ぐ力」及び「住み続けられる仕組み」をキーワードに、中山間地域の現状に基づく人口分析や、各地で行われている先進的な活動事例の紹介等を行い、これからの、中山間地域における地域の活力向上や自立した地域づくりについて考えていきます。

日時 平成30年10月26日(金)
13時30分～17時(開場13時)

会場 奈良県橿原文化会館 小ホール
(奈良県橿原市北八木町3丁目65-5)
*近鉄大和八木駅(北口)から徒歩約3分

基調講演

「地域ぐるみで稼ぐ、住む、つなぐ」

藤山 浩氏 (一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所所長)

パネルディスカッション

「中山間地域における「稼ぐ力」と「住み続けられる仕組み」づくりに関する活動報告及び他地域での実践に向けて」

コーディネーター

杉岡 秀紀氏 福知山公立大学地域経営学部准教授、北近畿地域連携センター長
パネリスト

細谷 忠弘氏 曾爾村役場企画課長

森本 健次氏 株式会社南山城代表取締役社長

坂本 大祐氏 合同会社オフィスキャンプ代表

三宅 正記氏 一般社団法人かわかみらいふ事務局主任

【同時開催事業】エクスカーション

「稼ぐ力」及び「住み続けられる仕組み」に係る先進地視察

■開催日時：平成30年10月27日(土)9:00～15:30(予定)

※大和八木駅8:50集合、大和八木駅15:30解散(バスにより移動)

■視 察 先：①(一社)曾爾村農林業公社【曾爾村葛地内、塩井地内】

②オフィスキャンプ東吉野【東吉野村小川地内】

※米焼酎製造施設、漆工房、シェアオフィスを視察予定

■定 員：30名(先着順)

■参 加 費：1,000円(昼食代。当日集合時にお支払いいただきます。)

■申込方法：チラシ裏面の参加申込書、または下記問合せ先まで

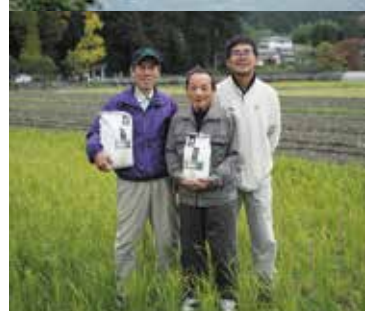
■申込期限：平成30年10月19日(金)までお願いします。

■主 催：奈良県

■問合せ先：奈良県市町村振興課 TEL：0742-27-9984

主催 奈良県、一般財団法人地域活性化センター

後援 総務省、奈良県市長会、奈良県町村会、公益財団法人奈良県市町村振興協会、奈良県商工会議所連合会、奈良県商工会連合会、日本商工会議所、全国商工会連合会、地域づくり団体全国協議会、奈良県曾爾村、奈良県川上村、合同会社オフィスキャンプ、株式会社南山城、一般社団法人かわかみらいふ、株式会社朝日新聞社、株式会社読売新聞社、株式会社毎日新聞社、株式会社産業経済新聞社、株式会社日本経済新聞社、株式会社奈良新聞社、NHK奈良放送局、奈良テレビ放送株式会社



プログラム

- 13:00～ 開場・受付
- 13:30～ 開会・挨拶
- 13:40～ 基調講演
「地域ぐるみで稼ぐ、住む、つなぐ」
藤山 浩氏 一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所所長
- 14:50～ 休憩
- 15:00～ 研究紹介
杉岡 秀紀氏
福知山公立大学地域経営学部准教授、北近畿地域連携センター長
- 15:20～ パネルディスカッション
「中山間地域における
「稼ぐ力」と「住み続けられる仕組み」づくりに
関する活動報告及び他地域での実践に向けて」
コーディネーター
杉岡 秀紀氏
パネリスト
細谷 忠弘氏 曾爾村役場企画課長
森本 健次氏 株式会社南山城代表取締役社長
坂本 大祐氏 合同会社オフィスキャンプ代表
三宅 正記氏 一般社団法人かわかみらいふ事務局主任
- 17:00～ 閉会

応募要項

参加申込方法

下記の参加申込書によりファックスをいただくか、当センターホームページ内「地方創生フォーラム」の申込フォームかメールに必要事項（郵便番号・住所・氏名・職業・電話番号・参加人数）をご記入の上、お申込み下さい。
※先着順。定員になり次第、締め切らせていただきます。

お問い合わせ・お申し込み先

一般財団法人地域活性化センター 地域づくり情報課
〒103-0027 東京都中央区日本橋2-3-4
日本橋プラザビル13階
TEL: 03-5202-6138
FAX: 03-5202-0755
E-mail: jcrd-forum@jcrd.jp
URL: <http://www.jcrd.jp/>
「セミナー・研修」→「地方創生フォーラム」→
「平成30年度 地方創生フォーラム in 奈良」
参加申し込みフォームから
※申込締切:平成30年10月19日(金)



出演者プロフィール

敬称略・順不同

■ 基調講演



藤山 浩 (ふじやま こう)
一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所所長
1959年島根県益田市生まれ。82年一橋大学経済学部卒業後、広島大学大学院国際協力研究科などを経て、98年島根県中山間地域研究センター地域研究課研究員として着任。2009年島根県立大学連携大学院教授、13年島根県中山間地域研究センター研究統括監就任。17年3月に同センターを退職、一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所を設立、所長就任。著書に「田園回帰1%戦略」(農山漁村文化協会)、「循環型経済」をつくる(編著/農山漁村文化協会)など。

■ パネルディスカッション コーディネーター



杉岡 秀紀 (すぎおか ひでのり)
福知山公立大学地域経営学部准教授、北近畿地域連携センター長
1980年奈良県生まれ。2003年同志社大学経済学部卒業、07年同大学大学院総合政策科学研究科博士前期課程修了。09年同博士後期課程退学。臨床政策学者。07年からは、いったん地域から離れ、霞ヶ関(内閣官房)へ。行政改革推進本部事務局にて、社会保険庁改革に従事。地域公共人材開発機構、京都府立大学を経て、16年秋より京都府北部地域の地域創生のために福知山に移住。著書に「地域創生の最前線」(編著/公人の友社)など。

■ パネルディスカッション パネリスト



細谷 忠弘 (ほそや ただひろ)
曾爾村役場企画課長
1969年奈良県曾爾村生まれ。88年曾爾村役場に就職。税務課、出納室、むらづくり推進課、総務課として企画課を経験し、企画部門で通算13年。2008年から2010年には、奈良政策大学と連携して集落の課題、地域資源の発掘など3年にわたり地域住民とのワークショップを開催。15年曾爾村まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定事務に携わり、一般社団法人曾爾村農林業公社を16年に立ち上げ、農産物のブランド化、森林の多面的活用、大和トウキなどの薬草事業、各集落のイノベーション事業を進める。



森本 健次 (もりもと けんじ)
株式会社南山城代表取締役社長
1967年京都府南山城村生まれ。85年南山城村役場に就職。地域商社設立を目指し、2015年役場在職時に道の駅お茶の京都みなみやましろ村の運営会社となる村出資の株式会社南山城を設立し代表取締役社長に就任。16年3月、道の駅開業に専念するため退職。行政より公益を担う株式会社づくりを目指す。道の駅をプラットフォームとし農業や福祉等、村を取り巻く課題解消に取り組んでいる。



坂本 大祐 (さかもと だいすけ)
合同会社オフィスキャンプ代表
1975年大阪府大阪狭山市出身。都市部で働いていたところ、身体を壊したのを機に、山村留学で中学生の頃に暮らした東吉野村へ移住。村に在任し、商品や店舗のデザインなどを手がけ活躍中。生活は正反対になったが、自分にはできない仕事へとシフトできた今の生活が気に入っている。現在は県・村・移住したクリエイター陣とタッグを組んでつくった「OFFICE CAMP HIGASHIYOSHINO」を運営中。



三宅 正記 (みやけ まさき)
一般社団法人かわかみらいふ事務局主任
1977年岡山県倉敷市生まれ。輸入果実卸売業の会社に15年間勤務、東日本営業部長を務める。退職後、2017年4月に奈良県吉野郡川上村に家族で移住。移動スーパー事業、宅配事業などの買い物支援事業や村内で唯一のガソリンスタンド(奈良県初の公設ガソリンスタンド)を運営している「一般社団法人かわかみらいふ」に入社。行政や村民・民間企業と連携し、暮らし続けられる村づくりを目指して取り組みを行っている。

地方創生フォーラム in 奈良 参加申込書 FAX: 03-5202-0755

団体・会社名	メールアドレス		@
連絡先住所	〒	TEL・FAX	TEL FAX
参加者氏名(フリガナ)		所属部署・役職	
		エクスカッション 参加される場合は○をご記入ください。	
アンケート 今回のフォーラムを何で知りましたか? (複数回答可)	本チラシ・ポスター・新聞・ならリビング・地域活性化センターHP・奈良県HP・地域活性化センターFB 月刊「地域づくり」・職場からの紹介・友人、知人からの紹介・その他()		

※ご応募いただいた方の個人情報は、本フォーラムに関する以外の目的には使用いたしません。※記入票が足りなくなった場合は、この用紙をコピーしてお申し込みください。